

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム南濃「福寿苑」

2 目標達成計画

作成日: 令和 6 年 2 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念は、抽象的で職員にとってわかりにくいのではないかと管理者は考えている。職員全員が共有して実践に繋げる理念が求められる。	職員全員で事業所としての方向性を明確にした理念を作り共有し、一丸となって理念に沿った支援を実践する。	自分たちが目指しているのがどんな介護なのかミーティングで話し合う。 職員全員で理念を考え完成させる。 2ヶ月
2	19	利用者の名前、要介護が記載されたシートが廊下に掲示されていた(職員用掲示板)。他の利用者が誰でも見ることができる。	ケアにとどまらず利用者を取り巻く全てにおいて配慮がなされるように、人格の尊重・プライバシーの確保に対する知識を深め、意識付けを図る。	職員用掲示板の設置場所を変更する(利用者の目に触れないところ) 人格の尊重、プライバシーの確保について勉強会を実施する。日頃のケア等において配慮されているか見直し、改善に向けて取り組みを話し合う。 2ヶ月
3	18	①災害対策として年2回の避難訓練を行っているが、コロナ禍以降、地域住民の参加は無い。 ②夜間想定で訓練を行っているが、計画内容が夜間としては不十分。	①避難訓練における地域住民の参加。 災害時の地域の協力体制の構築。 ②よりリアルに夜間を想定した訓練の実施。	①運営推進会議等で民生委員、自治会長、福祉推進委員と、訓練参加を視野に入れ協力体制について話し合う。 ②訓練計画内容の見直し。 消防署など関係機関に相談、協力を仰ぐ。 5ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。